

平成27年度まちづくりふれあいトーク  
で出された質問や要望の対応について

**【熊無地区】**

氷 見 市

区分	地区 No.	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性と着手を含む対応時期(平成28年4月)	28年度担当部署
会場	2401	27	熊無	保育	保育園について、保護者の要望する保育園になっていない。働く親に対して預けやすい環境になっていない。これでは街部にしか公立保育園は残らない。規則では小学校は、すべての地区に配置しなければならないとなっている。少なれば複式学級で運営することになっている。知らない人が聞いたら統合しなければならないと思ってしまう。文化祭など、地区住民も一緒に参加している。保護者は大きい学校でないと社会性が勉強できないと思っている。	軽々には答えは出ませんが、公式な保育園のモデルとして地域の人と触れ合える形をこの地区で実験的にやってみることに値はあると思います。質やニーズについて、新しい選択肢として考えるかどうか、悩ましいところです。小学校の配置基準について、均等に配置する義務があるか、ここですぐに確認はできませんが、地域の中に答えがあると思っています。自己決定していきましょう。人口が急激に減る時代にいますので、誤った判断をしないよう皆さんと答えを考えていきます。	近年、保育士の確保が難しく、全ての保育所で多様化する保護者のニーズに対応することは、困難といわざるを得ませんが、各保育園では、職員が時間差出勤で対応するなど、保護者の皆さんの要望に沿えるよう努めています。また、幼児期は、集団の中で遊びなどを通して社会生活を営むうえで大切な自主強調の姿勢や態度を身につけ、生涯にわたっての人との関わりや生活の基礎をつくる大切な時期であることから、市といたしましては、子どもの育ちへの適切な保育環境を保つためにも、保育所の適正規模の確保に努める必要があると考えます。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	子育て支援課 保育サービス担当 74-8116
会場	2402	27	熊無	定住	明和小学校の児童がいなくなるような対策を考えているか。	福岡県の津屋崎では、5年間で200名の人口増に成功しています。津屋崎千軒で検索すると出ますが、小学校に上がる前の子供を持った家族をターゲットとして、移住に関する情報を発信しています。今後、空き家対策についてたくさんのアイデアを出す人を氷見に招いて勉強しようと思っているので、ぜひ一緒に考えませんか。	今月から、「移住定住促進事業」をノウハウをもった民間事業者に委託し、事業者、行政、市民の皆様、関係団体等が連携しながら、「きっかけづくり」「なりわいづくり」「定着支援」など一貫してサポートする仕組みを構築することにより、移住定住者の増加を図っていきます。移住者が安心して暮らしていただけるには、地域コミュニティの支援が重要と考えますので、今後ともご協力賜りますようお願いいたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工業・しごとづくり・IJUターン応援課 定住・IJUターン担当 74-8075
会場	2403	27	熊無	定住	最近未婚の男女が多い。私らの若いころはほっといても誰かがあてがってくれた時代だった。今の時代は出会いがなければ結婚できない。昔と違ってまじめな人は結婚できない。南砺では仲人(おせっかいな人)が活動している。結婚したいができない人に手助けする施策が必要ではないか。	南砺市では100人くらいが結婚したと聞いています。氷見市でも若者がイベントを仕掛けていく予算を9月補正で確保したので、これからおせっかいな人を募集して仕組みづくりを行っていきます。(10月24日に開催される民間が企画したドライブ合同コンパの紹介)	縁結びおせっかいさん制度を創設し、ボランティアで結婚の希望をかなえていただく方を募集しています。そして、先進的に取り組んでおられる南砺市の「なんとおせっかい」の方々に講師に招いて学び、それを活かして未婚の方々の結婚の希望をかなえていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	観光交流・若者と女性の夢応援課 若者・女性が夢を持てるまちづくり担当 74-8106
会場	2404	27	熊無	道路管理	国道バイパスに照明を設置してもらいたい。現在2か所しかないのでそれ以外の場所は暗くて危険。増設の考えはあるのか。	街灯のついていない通学路は市内の他の校区にもあります。415号バイパスは通学路にも指定されているので、電柱がないという問題はありますが、今後検討していきたい。	平成28年度中にバイパスの歩道部に防犯灯を4基程度取り付ける予定にしています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 道の管理担当 30-7070

区分	地区 No.	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性と着手を含む対応時期(平成28年4月)	28年度担当部署
会場	2405	27	熊無	教育	明和小学校体育館の耐震化について、災害時の避難場所にもなっているので統廃合とは別に耐震化を図っていく必要があるのではないかと。	統合の対象校であるため、耐震化が控えられてきた経緯がありますが、避難場所としての耐震化は今後検討していきます。平成12年に校舎棟は耐震化を行いました、体育館はそのままになっています。体育館のIS値は0.36で、震度6強で倒壊の恐れがあるという数値です。概算ですが、耐震補強費は2,200万円で、うち国庫補助が1/3受けられます。建て替えの場合は1億7千万円かかる試算が出ています。	公共施設マネジメント計画を策定しており、市内全体の施設配置など、拠点施設として残す必要性のあるものは、長寿命化、耐震などが検討されます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211
会場	2406	27	熊無	公共交通	昨年の「高校生のスクールバス」の対応で参考意見となっているが、路線バスで高校生が通学するよう補助したらという考えだ。高校生はバスに乗らずにマイカーで送迎している人も多い。送迎のマイカーも渋滞がひどい。	高校生が全員バスに乗ってくれるかなどニーズを調査しないと、どういう形の支援が有効か判断できない面もあります。「つぶやきを形に」は、すべてを実現することはできませんが政策につながっていきます。バスを走らせるよりも個別にクーポンを払うのは検討の価値はあると思います。検討した結果を必ずお知らせします。	地域の自立や地域機能維持のために必要な公共交通施策について、市全体の都市空間戦略を考える「立地適正化計画」策定の中で検討を進めていきますが、高校生については市内だけではないこと、また公共交通がない地域もあることも、考慮していきたいと思っています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	都市計画・コミュニティデザイン応援課 公共交通担当 30-2949
質問	2451	27	熊無	教育	学校統合について、国の基準はわかりましたが、国の基準があり、氷見市としての現状があり、市としての基準はどうか知りたいです。	氷見市小中学校将来計画では、小学校においては複式学級を解消すること、中学校においては教科担任制の確保と部活動等の集団活動の確保を統合の目的としています。	なお、現在の小中学校将来計画は、平成30年度までの計画なので、平成30年度に小中学校統合審議会に諮って新しい計画を策定することになります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211
質問	2452	27	熊無	公共交通	代行料金が高いのでめったに飲みにいけません。週一回でもコミュニティバスを23時にしてほしい。街に移住した友人は何年かしたら地元に戻るつもりだった店も近いし代行料金分が飲みに行けるのが楽だと言って戻らない様子。	地域の自立や地域機能維持のために必要な公共交通施策について、市全体の都市空間戦略を考える「立地適正化計画」策定の中で検討を進めていきます。	地域の自立や地域機能維持のために必要な公共交通施策について、市全体の都市空間戦略を考える「立地適正化計画」策定の中で検討を進めていきますが、バス運営の需要と供給のバランスを考えながら対応していきたいと思っています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	都市計画・コミュニティデザイン応援課 公共交通担当 30-2949
質問	2453	27	熊無	人口減	氷見市の人口減少対策	本市の人口ビジョンでは2060年の人口は30,129人と推計し、それを踏まえてまち・ひと・創生しごと総合戦略を策定したところであり、それに基づいて成果が挙がるよう実施してまいります。	平成28年度予算において、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の実現に向け、より成果が挙がる事業を優先的に予算化し、各種事業を実施しています。事業の実施に当たっては、成果検証を行いながら、高齢世代の活動充実、若者と触れ合う場の創出につながるよう事業内容を改善し、新年度予算にも反映して進めていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	秘書・市民とともに創る未来政策課 総合計画・HimiStat担当 74-8011